

中盤でボールを奪い合う選手



高平常願寺スポーツパーク

交流戦で1周年祝う

舟橋

昨年7月に舟橋村東
菅原にオープンした人
工芝グラウンド「高平メモ
リアル常願寺スポーツパーク」
の1周年記念事業が26日、同
所で開かれた。運営する常願
寺川公園スポーツクラブ(S
C、会長・平木柳太郎)が、
が、広域的なスポーツの普及
を目指して富山市の藤ノ木ス
ポーツ少年団にサッカーゴー
ルを寄贈。同SCと同少年団
のサッカーチームが交流戦を
行った。

平木会長がいさつで「交

流試合や合同練習などを通じ
てグラウンドの有効な利用、
競技の裾野拡大につなげた
い」と展望を語り、JFC藤
ノ木の舟橋虎多郎君(5年)
にサッカーゴールの目録を手
渡した。

交流戦は5年生を中心に熱
戦を繰り広げた。

施設は総合型地域SCが運
営する県内初の人工芝グラウ
ンドで、名称は同SC初代会
長の故高平公嗣氏にちなん
でいる。本年度中にクラブハ
ウスが完成する予定。

人工芝グラウンド
1周年でゴール寄贈
常願寺川公園スポーツク
総合型地域スポーツクラ
ブ「常願寺川公園スポー
ツクラブ」は、舟橋村東菅原
に開設した人工芝グラウン
ド「高平メモリアル 常願



交流試合で健闘をみせる選手

舟橋村東菅原

寺スポーツパーク」の1周
年記念事業として26日、富
山市藤ノ木小スポーツ少年
団にサッカーゴールを寄贈
した。

贈呈式では、会長の平木
柳太郎氏談が「サッカーの
できる環境が広がってほし
い」とあいさつし、少年団
の代表者に目録を手渡し
た。同クラブが運営するJ
OGANJI富山と少年団
が交流試合で対戦した。

同クラブは昨年7月に日
本サッカー協会公認のフル
コート1面を整備し、年度
内にはクラブハウスの建設
も予定している。